

プラスチック製品製造業における金属材料を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

| 2017年発生月 | 時間 | 死傷災害発生事例 | 年齢 | 労働者規模 |
|----------|-------|--|----|---------|
| 1 | 15~16 | 第1生産棟調合室において、一斗缶上部をV字カッターで開口させ、内部洗浄を行っていた際、手元を滑らせてしまい、缶の切り口部分で右手親指甲部を切傷した。 | 24 | 50~99 |
| 2 | 19~20 | 当社工場内にて、金型置場の金型が、台木（鉄アングル）上で位置がずれていると感じたので金型（約150kg）を動かそうとした時、金型が台木から外れて落下し、当人の右環指を金型と床とで挟まれた。 | 43 | 10~29 |
| 2 | 10~11 | 金型倉庫内で金型収納ラックのスライド棚を引き出す際、勢いよく引き出したため、置いていた金型が滑って移動して、棚のへりに添えていた右手に当たり、右手人差し指を負傷した。 | 20 | 100~299 |
| 4 | 11~12 | 工業所別荘の畑のにて、下の畑と上畑の段差（擁壁）の下準備中に木製パレットを除けていた時、パレットがバラバラに壊れた物が出て来て、除けた物に古釘が残っていたのに気づかず、右足の靴を通りこして古釘が右足踵近くにささった。（イノシシに畑の土手を壊されて、それを防ぐために作業をしていた） | 22 | 1~9 |
| 7 | 9~10 | ホイストのフックを上昇させているとき、フックが金型ラックの下部に引っ掛かり、かけていた金型が落下し、咄嗟に足を後方に引いたが間に合わず、安全靴の鋼板外の左足親指付根に当たり骨折した。 | 44 | 50~99 |
| 9 | 20~21 | 当社第一工場成型機のシートつなぎ作業中、鉄管を落として原反台との間に右手を挟んで負傷した。 | 34 | 100~299 |
| | 18~ | 工場2階、集塵機横の空紙袋置き場にて、計量作業に使用する空袋約10枚を取ろう | | 10 |

| | | | | |
|----|-----------|---|----|---------------|
| 10 | 19 | としたところ、集塵機横に固定せず立て掛けてあった鉄板（約35kg）が倒れ、左足脛部を負傷した。 | 55 | ～ |
| 10 | 16～ 17 | 作業場にてマシニング加工中、ペット板から製品（材料）を外す際に、左手中指第二関節部分を8mm程切る。表面上の傷は治るものの、鈍痛と違和感が残る。傷に触れると痛みがあり、赤みもあった。異物が残っている可能性があったが、レントゲンでは判断できず、経過観察していたが中指全体が炎症で腫れ、メディカルでMRI後、手術を行い、切除した組織を病理検査に出すこととなった。 | 45 | 10 ～ 29 |
| 11 | 7～8 | 1t位のスリーブ（鋳物製品）をクレーンで工場内を移動するために補佐していた時、右手を壁とスリーブの端に挟んでしまい、右手人差し指第2関節より切断し、中指を骨折した。 | 37 | 50 ～ 99 |

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html